

## 第2・3学年 国語科学習指導案

日時 平成25年9月13日(金) 5校時  
児童 男子0名 女子6名 計6名  
指導者 藤原文  
佐々木 恵

(3年)

### 1 単元名 物語の感想をまとめよう

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 3年下 あおぞら)

#### 【指導事項】

- ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。 読(1)ウ
- ◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 読(1)エ
- ◎文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。 読(1)オ

#### 【関連する学習技能】

- ◎場面や情景の移り変わりとともに登場人物の変化する気持ちを地の文や会話文、行動などからとらえることができる。
- ◎作品の特徴的な描写や効果的な表現方法を理解することができる。

#### 【言語活動】

- ◎物語を読んで感想文を書き、交流し合うという活動目標のもと、引用文から自分の考えを明確にし、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童は「きつつきの商売」では二つの場面について、登場人物の行動や場面の様子を読み取ると同時に、音読の仕方を工夫して発表し、楽しんだ。この言語活動により、書かれていることをもとに、場面の様子を思い浮かべながら読むことのできる児童が増えてきた。また、「海をかつとばせ」では、人物に着目し、自分と比べながら、場面毎の主人公の行動や気持ちをまとめる学習をした。主人公の行動や会話から気持ちを想像し、自分と比べて考えを書き、交流することができた。

#### (2) 指導にあたって

1次では、単元のめあてを知り、学習の見通しを持たせる。「ちいちゃんのかげおくり」の学習では、場面の移り変わりに着目して読み、3次では感想文を書いて交流するという学習の方向性を確認し、目的意識を持って取り組めるようにする。粗筋をとらえる時に、「時」「場所」「出来事」の三つのキーワードに着目させ、ワークシートにまとめさせる。

2次では、場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動、情景、会話に着目して読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想カードを書かせる。読み方としては、「場面を比べる読み方」「戦争によって失われたもの」という視点を持たせ、どんな出来事があったかを読み深めさせる。並行読書の読み取り方にも生かせるようにする。特にちいちゃんの行動や会話文に着目し、ちいちゃんの心情に迫らせたい。その上で、心打たれた場面や文を選び、感想カードを書く活動を行わせる。交流では、友だちの意見を聞き、自分の感じ方と比べた意見を述べ合う活動をする。そのことが、3次に繋がっていくと考える。

いくと考える。

3次では、2次で書きためた場面毎の書き込みを生かして、一番音読劇をしたい場面を選ばせ、「お手紙」の音読劇をさせる。また、並行読書をした本の中から、2次で習得した手順を生かして、音読劇をさせる。その際、自分の考えを、見聞きしている人に伝わるように表現できているかを、相互に確認させる。これらのことで、自分の読みがより深まる楽しさを味わわせ、登場人物の行動や会話に着目して想像を広げながら物語を読む力をつけることができると考える。

### 3 単元の目標

- ◎場面の様子が表れるように、人物の行動や会話に着目して音読することができる。 読(1)ア
- ◎時、場所、人物、出来事や場面の様子を、人物の行動や会話に着目して読み取ることができる。 読(1)ウ

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
音読劇に興味を持ち、読み取った事柄を音読劇に表そうとしている。	場面の様子を音読劇で表すという目的を持って、人物の行動や会話に着目し、場面毎の人物の様子を読み取り、その気持ちを想像している。	主語と述語の関係を理解している。

### 5 指導計画 (全12時間 本時7時間目)

次	時	主な学習活動	評価規準 (☆評価の方法)
つかむ	1	○誰が何をし、どんなことを言うか、様子を考えて「音読劇をする」という学習の見通しをもつ。	(関) 音読劇への意欲を高めている。 ☆発言・観察
	2	○3次での音読劇に向けて並行読書を行うことの意味を確かめ、並行読書を始める。	(関) 学習の内容をとらえている。 ☆発言・観察
とらえ・ふかめる	3	○時、場所、人物、出来事(作品の設定)と粗筋をとらえる。	(読) 人物の行動や会話に注意しながら、設定を読み取っている。 ☆発言・観察
	4	○音読劇の仕方とその手順を知る。 ○お手紙を待つがまくん・かえるくんの様子を想像しながら、叙述をもとに、本文に音読劇に向けての書き込みをする。	(読) お手紙を待つがまくん・かえるくんの様子を想像し、読み方とその理由を書いている。 ☆発言・ノート
	5	○お手紙を書くかえるくんの様子を想像しながら、叙述をもとに、本文に音読劇に向けての書き込みをする。	(読) お手紙を書くかえるくんの様子を想像し、読み方とその理由を書いている。 ☆発言・ノート
	6	○お手紙を待つがまくんの様子を想像しながら、叙述をもとに、本文に音読劇に向けての書き込みをする。	(読) お手紙を待つがまくんの様子を想像し、読み方とその理由を書いている。 ☆発言・ノート
	7	○お手紙について話すがまくんとかえるくんの様子を想像しながら、叙述をもとに、本文に音読劇に向けての書き込みをする。	(読) お手紙について話すがまくんとかえるくんの様子を想像し、読み方とその理由を書いている。 ☆発言・ノート

3次では、2次までに書きためておいた感想カードの中から、心打たれた場面や文を選び、それをもとに考えを更に深めさせ、感想文を書かせる。特に物語の場面や平和な時代を生きる自分たちの生活との違いを比較して読み深めさせたい。そして、主人公と自分、友だちと自分のそれぞれに感じ方の違いがあることを感じ取らせたい。

### 3 単元の目標

- ◎ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の人柄や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むことができる。 読(1)ウ
- ◎ 感想の内容や書き方を比較し、感じ方の違いや考えの明確さなどについて、意見を伝え合うことができる。 読(1)オ

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
登場人物の気持ちや性格に着目して読んだり、戦争について書かれた作品を味わって読んだりしている。	叙述を基に、登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読み、一人一人の感じ方・考えに違いのあることに気付いている。	言葉に登場人物の心情が表れていることに気付いて、文章を読んでいる。

### 5 指導計画 (全13時間 本時7時間目)

次	時	主な学習活動	評価規準 (☆評価の方法)
1 つ か む	1	○本文を読んで、一番心打たれた場面を交流し、「感想文を書く」というねらいを知る。 ○「戦争中の話」をさがし、並行読書を始める。	(関) 登場人物の気持ちや性格に着目して読み感想を持つ。☆発言・ワークシート (関) 「戦争中の話」をさがし、進んで読もうとしている。☆観察
	2	○粗筋をつかむ。 ○学習課題を設定し、学習計画を話し合う。	(読) 粗筋をとらえ、学習計画を話し合っている。☆発言・ワークシート
2 と ら え ・ ふ か め る	3	○二つのかけおくりを比べ、違いをまとめる。 ○1場面を中心に、ちいちゃんの周りから失われたものを読み取る。 ○心を打たれた場面について書く。	(読) 二つのかけおくりを比べ、違いをまとめている。☆発言・ワークシート (読) ちいちゃんの周りから失われたものを考えている。☆発言・ワークシート
	4	○1・2場面を比較しながら、2場面を中心に、ちいちゃんの周りから失われたものを読み取る。 ○心を打たれた場面について書く。	(読) ちいちゃんの周りから失われたものを考えている。☆発言・ワークシート
	5	○2・3場面を比較しながら、3場面を中心に、ちいちゃんの周りから失われたものを読み取る。 ○心を打たれた場面について書く。	(読) ちいちゃんの周りから失われたものを考えている。☆発言・ワークシート

	8	○お手紙を喜ぶがまくんとかえるくんの様子を想像しながら、叙述をもとに、本文に音読劇に向けての書き込みをする。	(読) お手紙を喜ぶがまくんとかえるくんの様子を想像し読み方とその理由を書いている。 ☆発言・ノート
3 つ か う	9	○読み取った事柄をもとに、一番音読劇をしたい場面を選び、読み方の練習をする。	(読) 行動と会話に着目し、音読劇に表すことを考えながら、場面を選んでい。 ☆発言・ノート
	10	○「お手紙」の音読劇発表会をし、感想を交流する。	(読) 読み方とその理由について考えながら発表し、意見交流をする。 ☆発言・ノート
	11	○並行読書をした本の中から1作品を選び、音読劇に表せるよう、場面と役割を決める。	(読) 音読劇の仕方を見直し、場面の様子が分かるように読み方を工夫している。 ☆ノート・音読・観察
	12	○場面の様子を想像しながら、叙述をもとに音読劇の発表をする。 ○音読劇について、感想を交流する。 ○「音読劇」を通して分かったことを確かめる。	(読) 読み方や動きを考えて音読劇をするとともに、良い読み方や動きについて感想を発表している。 ☆発言・ノート

## 6 本時の指導

### (1) 目標

○登場人物の行動や会話から場面の様子を読み取り、その読み方を考えることができる。

### (2) 具体の評価規準

A	B	C 支援
積極的に友だちとの相違点を見つけ、より良い音読劇の仕方について、叙述をもとに、根拠を明らかにしながら書き足したり、書き直したりしている。	友だちの考えを聞き、良い音読劇の仕方について、叙述をもとに、根拠を明らかにしながら書き足したり、書き直したりしている。	自分の考えと友だちの考えの違いを確かめさせる。どの友だちの考えをもとに音読劇をするといいか、登場人物の行動や会話から様子を考えさせる。

### (3) 本時の展開

	6	○3・4場面を比較しながら、4場面を中心に、ちいちゃんの周りから失われたものを読み取る。 ○心を打たれた場面について書く。	(読) ちいちゃんの周りから失われたものを考えている。 ☆発言・ワークシート
	7 本 時	○ひとりぼっちのちいちゃんの場面とちいちゃんのいない公園の場面の違いを比べる。 ○ちいちゃんのいない公園はどんな世の中で、どのように思うかを交流する。	(読) ひとりぼっちのちいちゃんの場面とちいちゃんのいない公園の場面の違いを比べ、平和について考えている。 ☆発言・ワークシート
3 つ か う	8 9	○3～6時で読み取ったことをもとに、感想文の書き方を理解する。 ○心打たれた場面や言葉を中心に感想文を書く。	(読) 心打たれた場面や言葉を引用したり、要約したりしながら、感想カードを書いている。 ☆ワークシート
	10	○感想文を交流し、友だちの感想文との相違点を見つける。	(読) 感想の内容や書き方を比較し、感じ方の違いについて、意見を伝え合っている。 ☆発言
	11 12	○2次の学習を生かし、並行読書をしてきた本の、心打たれた場面や言葉を中心に感想文を書く。	(読) 心打たれた場面や言葉を引用したり、要約したりしながら、感想カードを書いている。 ☆ワークシート
	13	○感想文を交流し、単元全体の振り返りをする。	(読) 感想の内容や書き方を比較し、感じ方の違いについて、意見を伝え合っている。 ☆発言

## 6 本時の指導

### (1) 目標

○ひとりぼっちのちいちゃんの場面とちいちゃんのいない公園の場面の違いを比べ、平和の大切さを考えることができる。

### (2) 具体の評価規準

A	B	C 支援
今は、平和な世の中で幸せなことを戦争中と比較して書き、交流している。	平和な世の中になって幸せなことを書き、交流している。	今の公園の様子をちいちゃんが見たら、どのように思うかを考えさせる。

### (3) 本時の展開

指導上の留意点	学習活動 ●主な発問○期待する児童の反応		学習活動 ●主な発問○期待する児童の反応	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音読劇をしよう」につながる学習であることを確認させる。</li> <li>・学習への見通しを持って音読させる。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を振り返り本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">三の場面の音読のしかたを考えよう。</div> <p>2 音読の仕方を考えながら、学習場面の音読をする。</p>	つ つ か か む む 5 5 分 分	<p>1 前時の学習を振り返り本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">心を打たれた文から感想をもとう。</div> <p>2 本時のめあてをつかむために、学習場面の音読をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心を打たれた場面を中心に感想をまとめる」につながる学習であることを意識させる。</li> <li>・学習への見通しを持って音読させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予め引いておいたサイドライン部分を発表させる。</li> <li>・会話文を読み深めることで、読み方の根拠を、叙述に即して押さえさせる。</li> <li>・「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」の読み方を考えさせる。</li> <li>・二人の距離から、心情の変化を確かめさせる。</li> </ul>	<p>3 かえるくんとがまくんの行動と会話を確認する。</p> <p>4 読み深める</p> <p>(1) 会話文の読み方を考える。</p> <p>●お手紙には、どんなことが書いてありましたか。</p> <p>○『親愛なるがまくん。ぼくは、きみがぼくの親友であることを、うれしく思っています。きみの親友、かえる。』</p> <p>○親愛なる→親しみ、愛している</p> <p>○かえるくんは、がまくんが自分の親しい友だち、一番の友だちだということをうれしいと思っています。</p> <p>○がまくんの親しい友だち、一番の友だちであるかえるより</p> <p>●このお手紙のどこが「とてもいいお手紙」なのでしょう。</p> <p>○「親愛なる」と言ってくれている。</p> <p>○「ぼくの親友」と言ってくれている。</p> <p>○「親友であることがうれしい」と言ってくれている。</p> <p>(2) 動きを考える。</p> <p>●動きを考えましょう。</p> <p>○「お手紙に、なんて書いたの。」→何と書いたか知りたいから、がまくんは、かえるくんに近づいたと思う。</p> <p>○ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。→二人で同じ方向を向いていると思う。</p>	深 深 め め る る 2 2 0 0 分 分	<p>3 五の場面について考える。</p> <p>(1) 四の場面と五の場面の「きらきら」の違いを考える。</p> <p>○四の場面の「きらきら」は、悲しい。五の場面の「きらきら」は、楽しい。</p> <p>(2) ちいちゃんと子どもたちを比較し、感想を持つ。</p> <p>○ちいちゃんが失った「未来」を子どもたちは持っている。</p> <p>○ちいちゃんが失った「家」を子どもたちは持っている。</p> <p>○ちいちゃんが失った「遊び場」を子どもたちは持っている。</p> <p>○ちいちゃんが失った「命」を子どもたちは持っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接指導の中では、サポートの先生と共に、ワークシートで学習活動を進める。</li> <li>・喜びに差があることに気付かせる。</li> <li>・ペアで交流する。サポートの先生と共に、自分の考えがどのように変わったか分かるよう、書き足しや書き直しは、色ペンで行わせる。</li> <li>・読みの根拠を、叙述に即して書かせる。</li> <li>・1～4の場面で、ちいちゃんが失ったものから考えさせる。</li> </ul>

<p>・間接指導の中では、サポートの先生と共に、ノートで学習活動を進める。</p> <p>・一の場面と三の場面の挿絵の比較から、心が通い合ったことを確認させる。</p> <p>・サポートの先生と共に、自分の考えがどのように変わったか分かるように、書き足しや書き直しは、色ペンで行わせる。</p>	<p>5 音読劇に向けての書き込みをする。</p> <p>(1) ノートに読み方を書き込む。</p> <p>(2) ペアで、互いの考えを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評価) お手紙について話すがまくん、かえるくんの様子を想像し、書き込みをしたり直したりしている。(ノート・動き)</p> </div>	<p>深 め る 1 5 分</p>	<p>4 五の場面を読み取る。</p> <p>・(1) について交流する。</p> <p>○ちいちゃんは不幸せ。ひとりぼっちで死んでいったから。</p> <p>○子どもたちは幸せ。家族も命もあるから。</p> <p>・(2) について交流する。</p> <p>○ちいちゃんの家は、焼けてなくなってしまったけど、子どもたちには、家がある。今は、前よりもいっぱい家が建っていて、良かった。</p> <p>○ちいちゃんは、一人でかげおくりをしたけど、子どもたちは、みんなで遊んでいる。公園で遊べるようになって、良かった。</p> <p>○ちいちゃんは、死んでから笑ったけど、子どもたちは、遊びながら笑っている。楽しく遊べるようになって、良かった。</p> <p>○ちいちゃんは、戦争のせいで死んだけど、子どもたちは、戦争がないから、楽しく遊べていい。</p> <p>●友だちの考えを聞き、五の場面で、どんな感想を持ちましたか。</p> <p>○ちいちゃんは、戦争で「未来」を失ってしまったけど、家族に対する愛情だけは、失われなかった。</p> <p>○ちいちゃんは、戦争で「命」を失ってしまったけど、数十年後の子どもたちは、平和な世の中で生きていくことができる。</p> <p>○平和は、大切だ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評価) 友だちと比較して感想をもつことができたか。(発表)</p> </div>	<p>・友だちの考えを聞いて、自分の考えとの違いに気付かせたい。</p>
<p>・今後の読みの練習に生かすように働きかける。</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>○音読をする。</p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 学習した事柄を感想カードに書く。</p> <p>(2) 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・引用文と心打たれ理由を感想カードとしてまとめさせる。</p>

(4) 板書計画

お手紙

三の場面の音読のしかたを考えよう。

「かえるくん、どうして、きみ、ずっとまごの外を見ているの。」

「だって、今、ぼく、お手紙をまっっているんだもの。」

「でも、来やしないよ。」

「きつと来るよ。」

「だって、ぼくが、きみにお手紙出したんだもの。」

「きみが。」

「お手紙に、なんて書いたの。」

知りたいから、近づいた

親しみ・愛情

かえる

がまくん

親しい友だち

『親愛なるがまがえるくん。ぼくは、きみがぼくの親友で  
がまくんの親しい友だち  
あることを、うれしく思っています。きみの親友、かえる。』

「ああ。」

親愛・親友・うれしく思っています

「とてもいいお手紙だ。」

ふたりは、げんかんに出て、お手紙の来るのをまっっていました。

ふたりとも、とてもしあわせな気もちで、そこにすわっていました。

書きこみのしかた

読み方…理由をつけて

動き…理由をつけて

友だちの考え…青ペン

挿絵

挿絵

ちいちゃんのかげおくり

心を打たれた文から感想をもとう。

四 きらきら  
やとと家族と会えた  
うれしい 悲しい

失ったもの

失っていないもの

五 きらきら  
大ぜいで遊んでいる  
楽しい

数十年後  
家がたくさん  
青い空  
遊べる

命 遊べない 空 家 家族への思い 家族との絆

それから何十年。町には、前よりいっぱい家がたっています。

ちいちゃんが一人でかけおくりをした所は、小さな公園になっています。

青い空の下、今日も、お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの子どもたちが、きらきらわらい声を上げて、遊んでいます。

ちいちゃんは、未来を失ったけど、家族に対する愛情だけは、失われなかった。

ちいちゃんは、戦争で人生を失ってしまったけれど、数十年後の子どもたちは、平和な世の中で生きていくことができる。